

第 25 回青年対策交流集会報告書

全港湾東北地方小名浜支部

幹事 江尻 廉

2月22日から24日まで青年対策交流集会の方に参加してきました。

1日目は鈴木誠一さんに「全港湾結成から全国港湾結成まで」について話していただきました。何年も前の戦争の頃の話をしていただき、その中でも自分は、GHQの話に関心を受けました。GHQがまず行った五大改革の1つ「労働改革」は①低賃金労働者が多く国民が貧しいため国内でもモノが売れない。②国内でモノが売れないから市場を国外に求めて諸外国を侵略してしまう。この話を元に分散会を行いました。分散会では、空港、港湾、原子力が戦争の時に狙われるから今後の不安、自分達にできることなど、意見を出し合い話し合うことができました。

2日目は松長さんに「全港湾青年部の歴史とこれからの全港湾について」話を指定いただきました。話していただいた中でも1番重要だと感じたことは、青年部に望むものです。①先輩たちの運動に学ぶこと。今まで先輩たちが残してくださった記念誌や冊子などを用いて少しでも知識をつけることが必要だと感じました。②自分達の時代に置き換える。時代が違うからと一言で片付けるだけではなく、何が違うのか探ることが必要になってくる。③将来につなげるために。人の話をよく聞きよく話す人の話を聞くことは当然のことだと思っているのですが、よく話すということが今の自分に足りてない部分だと痛感しました。

今回の青年部対策交流集会を通して、自分に足りてない部分を知ることができました。今後、しっかり勉強をして知識をつけることや、自分がいる地方の問題を理解しておくことなど、大切なことに気づけました。今回の経験を活かし、自分達で青年部活動を引っ張っていけるように努力していきます。